

第1回関西広域連合委員会 議事概要

1 日時

平成22年12月4日（土）17:01～18:05

2 場所

大阪国際会議場 3階イベントホール（大阪市北区中之島）

3 出席者

- ・ 井戸連合長（兵庫県知事）、仁坂副連合長（和歌山県知事）、
嘉田委員（滋賀県知事）、山田委員（京都府知事）、橋下委員（大阪府知事）、
飯泉委員（徳島県知事）、平井委員（代理：鳥取県藤井副知事）

4 会議内容

議事について（6）広域計画を除き、原案通り委員会にて決定した。

（5）「国出先機関対策委員会」については、委員長に橋下委員、副委員長に山田委員が指名された。

出席者の主な発言は以下の通り。なお、資料の説明は事務局から行った。

（1）委員会の運営（運営規則、申し合わせ）について

（井戸連合長）

- ・ 8月27日の分権本部会議で合意を得たものであるが、理事会制に準じるものとして合議による委員会運営を行いたい。

（2）例規について

（井戸連合長）

- ・ 発足時からどうしても必要な11件の条例のみ専決処分を行うこととしたい。専決処分を行ったものについては、議会で報告し承認を求める。

（3）事務局組織について

（井戸連合長）

- ・ 事務局組織は機動的なものとし、職員は委員府県で兼務する。本部事務局のプロパー職員は極力制限する。

（山田委員）

- ・ 分担の事務局の組織体制は変更可能か。

（井戸連合長）

- ・ 本部事務局は定数条例で15人と定めているが、兼務は定数外なので、各事務を進める中で柔軟に対応していただきたい。

(4) 予算について

(井戸連合長)

- ・ 平成 23 年度予算は議会在が発足してから 2 月定例会に提案する。本資料の 23 年度予算は概算であり、今後精査する。

(5) 「国出先機関対策委員会（仮称）」の設置について

(井戸連合長)

- ・ 近畿ブロック知事会で合意した、対策委員会の設置について諮るもの。
- ・ 出先機関の権限移譲は連合の大きな使命である。この委員会が大きな役割を果たすよう進めたい。

(橋下委員)

- ・ 1 年前に国に提案したときは、適当にあしらわれたので、連合で取り組むのを楽しみにしてきた。

(山田委員)

- ・ 突破力のある橋下知事にぶつかっていただいて、サポートしていきたい。関西広域連合の未来を考える上で大きな話になるので頑張っていきたい。

(井戸連合長)

- ・ 権限移譲を要請する上で、片山大臣からは奈良県、政令市の未加入の問題を指摘されているが、目の前に迫ってくれば、相談できる環境が整ってくる。心配はしていない。
- ・ 委員会で実現すべく推進していきたい。分権の突破力を開く大きな役割を果たすはず。

(嘉田委員)

- ・ 部会をつくって積み上げてほしい。瀬田川洗堰について、連合で検討したいと議会で発言した。

(井戸連合長)

- ・ 広域計画の検討の一環として取り上げることになると思う。具体化の方法については今後検討したい。

(飯泉委員)

- ・ 権限移譲については、国がタマを持っており、国の覚悟が試される。できないのであれば、民主党の地域主権のハタを下ろすという勢いでお願いしたい。

(井戸連合長)

- ・ 国は奈良県が入っていないのを気にしているが、奈良県分の事務は委託という方法も考えられるのではないかな。

(山田委員)

- ・ 国にやる気があるかどうかにつける。奈良県が入っていないからできないというのは、国は地域主権を最初からやる気がないのではないかな。問題を解決する仕組みをつくれればいいだけである。最近、特に、国のやる気を疑っている。

(橋下委員)

- ・ 地域主権戦略会議で移譲の方向性が示されている。政府と広域連合の協議の場を持ちたいがいかがかな。

(井戸連合長)

- ・ 具体的に議論を進めていかなければいけないので、ぜひ、つくってほしい。対策委員会も、必要に応じ不参加団体にもオブザーバー参加を要請することになっている。

(山田委員)

- ・ 奈良にも協議の場に出てきてほしい。

(橋下委員)

- ・ 関西広域連合と政府の協議の場をつくっていききたい。

(井戸連合長)

- ・ 7(2)の国への要請は機動的かつ幅広に行っていくため、根拠条文で限定すべきでない。
- ・ 広域観光・文化振興分野ではジオパークについて鳥取県で事務局を担当させていただくが、近畿地方環境事務所の「国立公園」に関する権限の移譲を強く求めることを提案。

(山田委員)

- ・ 国への要請には議会の議決は必要か。

(井戸連合長)

- ・ 要請する場合はあらかじめ構成団体と協議を行う旨を規約に規定している。移譲を受けるときは規約変更の議決が必要なので、要請に先立ち議会の了解を得ておくことが必要。

(6) 広域計画について

(井戸連合長)

- ・ 具体的内容については議案として取りまとめる際に調整させていただくが、原案はかなり限定的であり、弾力的で拡張の余地があるものとなるよう事務局で検討してほしい。

(飯泉委員)

- ・ 計画は実体を動かすためのもの。国は本四架橋の通行料金については他の道路の2000円に2000円を上乗せする方向。近畿ブロック知事会議でご賛同いただいたように、他の道路と同料金となるよう、広域連合設立の象徴的なものとして行動をお願いしたい。

(仁坂副連合長)

- ・ 同様に阪神高速道路も上乗せとなり、全国から切り離されている感がある。このような場で議論、調整していきたい。

(井戸連合長)

- ・ 淡路島についても二重取りとなる。広域連合としても矛盾点を指摘し配慮を求めていくが、方法については連合長一任としていただきたい。

(橋下委員)

- ・ 大阪府ではハイウェイオーソリティー構想をPPPの提案も組み込んで出しており、外郭環状道路と淀川左岸線延伸部にはフランスの会社からも提案がきている。今後、広域連合での運営を、民間委託も含めて議論したいが、国交省道路局が動かないので戦略を考えたい。

(井戸連合長)

- ・ 兵庫県も同構想には共に取り組んでいるが、西日本高速道路株式会社が所有する高速道路の一部を引き取ることになるため、国交省も動きづらいうだ。国交省道路局への逆提案も含めて検討が必要。

(橋下委員)

- ・ 国の徴収金額を固定する方法を検討しており、今後協議したい。

(井戸連合長)

- ・ これ（広域計画）はこれとして検討を進めるとして、両知事の提案は早急に対応が必要であり、要望の際はご協力をお願いしたい。
- ・ 広域計画は趣旨計画であり、分野別には広域行政計画をきちんとつくっていただきたい。

(7) 議会（議員選出依頼、制度設計等）について

(井戸連合長)

- ・ 議員報酬については、広域連合のことを考えていただいたときだけが広域連合議会の仕事ではないので、議長36,000円、副議長30,000円、議員24,000円で年額支給としたい。
- ・ 議員の選出依頼については、各知事からも議会に協力依頼をお願いしたい。
- ・ 第1回議会には全委員が出席できるよう、夜や土日の開催も含めて検討したい。
- ・ 議会における委員の定足数については定めていないが、過半数は出席するとか、代理出席を認めるというような申し合わせも、第1回の臨時議会の際に行うこととしたい。
- ・ 代理も認める。連合長は不測の事態がない限り出席する。不測の事態のときは、副連合長が対応いただくこととする。全員協議会開催時に取り決めたいのでよろしくをお願いしたい。

(8) 指定金融機関について

(井戸連合長)

- ・ 続いて、指定金融機関の件については、選定委員会で審査の結果、みずほ銀行に決定とした。

(9) その他

(飯泉委員)

- ・ 事前に定例会日等を決めておけば調整しやすい。

(井戸連合長)

- ・ 事務局と調整したい。いずれにしても、1月中旬の議会の前に第2回委員会を開催したい。

(嘉田委員)

- ・ 広域計画をつくるにあたって、地図データベースを活用するなど、住民にわかりやすいものをつくるようにしてほしい。

(井戸連合長)

- ・ 広域計画策定にあたり、様々なレベルがある。今回のものは、法に基づく基本的なものであり、分野別計画を作る際は、具体の課題となる。
- ・ 広域連合がやっていることをどう「見える化」するかが重要。「見える化」することによって、発信し存在感を示す。それが広域連合のパワーとなる。

(橋下委員)

- ・ 広域産業を担当している委員として、公設試験研究機関の連携について、一点お

願いたい。大阪府は、産業技術総合研究所の独法化に向けて動いている。収益事業を拡大して、しっかり結びつくようにしたい。大阪府でやっている取組に対して各委員から号令をかけてもらってほしい。大阪府のプランを提示する。

(仁坂副連合長)

- ・ 全部統合しなくても協力できる部分でいいということによいか。

(橋下委員)

- ・ 今後、相談させていただく。

(井戸連合長)

- ・ 研究機関同士の連携なので、連携の主体が必ず行政機関でないといけないということではない。

(山田委員)

- ・ 最初に具体的に動くのは、広域観光プロモーションだと考えている。その時は、協力いただきたい。

(井戸連合長)

- ・ 最後に、鳥根県の鳥インフルエンザの件についてである。口蹄疫の時に連絡協議会をつくって、事務局も兵庫県が担っているが、連合で担うべきと考えている。これを基本に口蹄疫等対策に取り組みたい。危機管理という位置付けである。

(嘉田委員)

- ・ 環境保全で鳥獣害対策に取り組むが、野鳥もどこかで繋がっている。こういう機会に共有しておきたい。

(井戸連合長)

- ・ 全体協議会をつくって全体の調整が必要になるかもしれない。その点も柔軟に対応したい。

以 上